

2009年3月12日

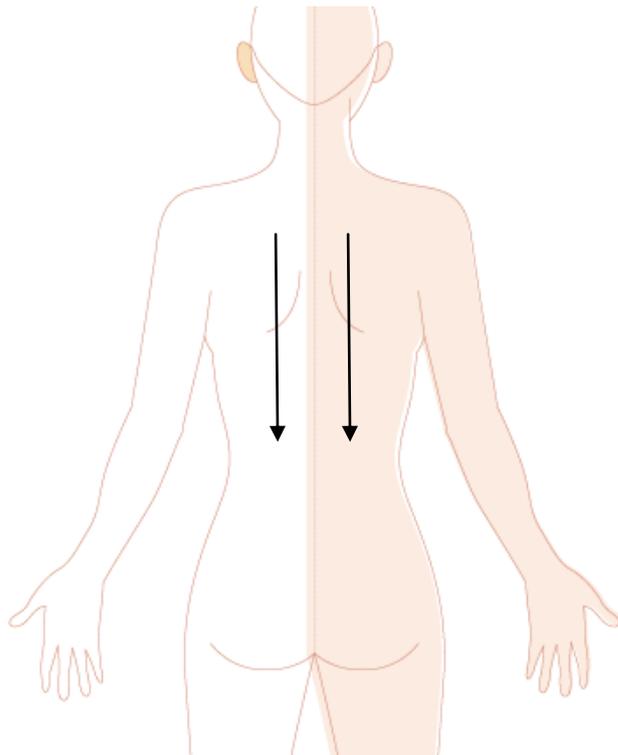
「夜泣き」



小児鍼（しょうにしん）と呼ばれる鍼治療法があります。

文字通り小児(子供)専用の鍼治療のことです。でも、鍼治療といっても打ったり、刺したりする訳ではありません。

先の丸くなった鍼で擦ったり軽くつついたりという刺激を経穴(ツボ)や経絡に沿って施します。言わば痛くない鍼治療です。適応は生後6ヶ月くらいから10歳位までです。



ご家庭に小児皮膚鍼がなければスプーンの腹でも代用できます。

左図のように矢印の方向に擦ってあげてください。

大人の方でも、すごく敏感な体質の方は散鍼といって皮膚の上を軽く刺激する特殊な鍼の治療法もあります。

治療点はそれぞれの状態で違いますが、背中やお腹のツボを使います。

夜鳴きは、親子のコミュニケーションをとる上で重要な行事でもあります。スキンシップを行うときに、あれこれと悩んでしまうかもしれませんがあせらずに、将来これが子供の心の栄養になると思って育ててあげてください。

(漢方薬)

宇津救命丸など